

常呂高校の全日設置移行期の思い出

*注：昭和36年1月10日 家庭科設置認可

9月5日 常呂町議会において、昭和37年度から全日設置の件を議決

11月30日 常呂高校整備計画第1期工事落成

普通教室 4教室 80坪

生徒玄関・廊下 132坪

計 212坪

昭和37年1月16日 全日設置認可

4月10日 全日制普通科第1学年入学式

男子 66名

女子 43名

計 109名

9月 第1回学校祭開催（全日制第1学年と定時制合同）

10月20日 常呂高校整備計画第2期工事落成

屋内体育館完成

「風間部定時制」(抜粋) 宇野千代子

「常呂高校四十年史」掲載

(略) 中3の進路相談の時に、常呂高校が全日設置をするためのテストケースとして3年間で修了できる風間部定時制を設けて生徒の募集にきました。

ほとんどの人が網走の高校をめざしていましたが、普通高校と同じ勉強ができ、しかも無試験とあって心が揺れたものです。受験地獄の苦しみを味わうこともなく、十分な設備もない中、たった28名の小さなクラスでしたが、初めて会う級友やすてきな上級生方と勉強やスポーツ・レクリエーションなど、自主的に学生生活を楽しんできました。

しかしある時、約束だったはずの3年で修了できるという話が曖昧になってきたので校長に問いただしたところ、規定の単位を修得すれば3年で修了証明書を出すということになり、昭和38年3月学舎を築立っていきました。

翌39年に卒業証明書が届き、私たちは二度卒業という形になりました。

分校から道立高校に生まれ変わる段階にこのような特殊ケースがあったことを心の片隅に留めておいていただければと思います。(略)